



地域にひらかれた施設を目指し

温かみのある介護を



社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会
泉尾特別養護老人ホーム

大正園

長期入所・短期入所
通所介護・居宅介護



施設案内



泉尾特別養護老人ホーム大正園

大正園は特別養護老人ホームとして昭和62年5月に地域住民の健康と福祉の向上を目的として建設されました。現在指定介護老人福祉施設として、長期100名、短期8名、通所27名、居宅介護支援事業所を運営しています。

利用者に対して高品質なサービス提供がなされるように、業務を見直し質の標準化、リスクマネジメントなどに取り組むとともに職員の介護能力のレベルアップに努めています。また、地域との交流を大切にし、利用者の方がたが健康かつ活動的な生活が送れるよう隣接の泉尾病院や他の福祉施設、訪問介護、訪問看護等と連携して生活機能が衰えないようより良いサービスに努めています。

さらに当園では利用者の生活の質を維持向上していただくため、地域の各機関と連携してボランティアの方がたにご協力いただき利用者のニーズに合わせた適切なサービス提供を行うべく心がけています。

ご利用様が自宅のようにつろげ、安心できる雰囲気の中で『その人らしい暮らし』をテーマに、あたたかな雰囲気を大切にしています。

24時間体制の介護職員と日中常駐する看護師がご利用様の日常的な健康管理と病気の予防に努めています。



沿革

| | |
|------------|-------------------------|
| 昭和62年5月1日 | 泉尾特別養護老人ホーム大正園開設 |
| 昭和62年10月1日 | 大正デイ・サービスセンターB型(15名) 開設 |
| 昭和63年1月11日 | 老人短期入所事業 大正園開設 |
| 平成元年2月1日 | 入浴事業を開始 |
| 平成6年12月1日 | 北恩加島地域在宅サービスステーション開設 |
| 平成11年3月1日 | 大正デイ・サービスセンターE型(10名) 開始 |
| 平成13年7月1日 | 入浴事業終了 |
| 平成17年10月1日 | 介護保険改正に伴う変更 管理栄養士加算申請 |
| 平成18年4月1日 | 介護保険改正に伴う変更 |

済生会の歴史

明治44年2月11日、明治天皇は時の内閣総理大臣、桂太郎を召されて「医療を受けることができないで困っている人たちに施薬救療し、済生の道を弘めるように」というご趣旨の「済生勅語」とその基金として御手元金150万円を下賜されました。これを基に伏見宮貞愛親王を総裁とし、桂総理が会長となって同年5月30日、恩賜財団済生会を創立。それ以来社会経済情勢の変化に伴い、紆余曲折を経ながらも本会は創立の精神を引き継ぎ、保健・医療・福祉の増進・向上に必要な諸事業を行ってきました。

戦後は社会福祉法人恩師財団済生会となり、現在は秋篠宮殿下を総裁、有馬朗人会長、炭谷茂理事長として東京に本部、40都道府県に支部を設置しています。

公的医療機関としては病院82、診療所17、訪問看護医療ステーション58、介護老人保健施設30、救護施設1、児童福祉施設24、老人福祉施設122、障がい者福祉施設8、老人デイサービスセンター40、看護師養成施設7、地域包括支援センター27、地域生活定着支援センター5、その他施設ならびに事業所数で合計すると389の施設事務所を有しています。また巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の離島の67島の診療活動に携わっています。職員は全国で約6万人となっています。

(2018年4月1日現在)

入所サービス



長期入所



大正園は「明るく地域に開かれた施設を目指すと共に人と人との真心のこもった温もりのある介護を向上させる」ことを目標としております。また、ご利用者さまの皆さまにとって自分らしい生活が実現できるように我われ介護スタッフは、その「人」の思いを尊重した介護を提供するよう日々努めるとともに、多くのボランティアの皆さまの協力のもと、行事活動なども展開しています。

短期入所（ショートステイ）



ご利用者さまが可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、ご自宅にこもりきりの孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、ご家族さまによる介護負担軽減などを目的としています。介護が必要な方の短期間の入所受け入れ、入浴や食事などの日常生上の支援や昨日訓練などを行います。

在宅サービス



通所介護（デイサービス）



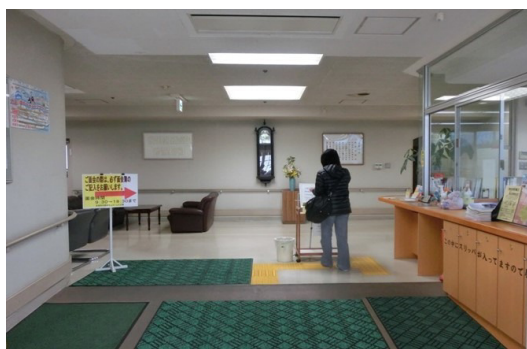
日帰りで専門施設に短時間介護を依頼できるサービスです。デイサービスは通所介護ともいい、送迎付きで食事や入浴、レクリエーションなどを受けられます。身体を動かすことや、仲間ができる社交の場を提供することで気分のリフレッシュを図り、閉じこもりを防止、孤独の解消やストレスの軽減、精神面での維持向上を図ります。

居宅介護支援事業（ケアプランセンター）



居宅介護支援は、ご利用様が可能な限りご自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、ケアマネージャーが、ご利用様の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成します。プランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整を行っています。

施設のご案内



1階

JR大正橋駅から市バスを乗り継ぎ「大正区役所」から徒歩5分にあります当施設はオレンジとイエローのツートンカラーの3階建てで大変よく目につきます。

1階：ロビーや事務室、面談室、北恩加島在宅サービスステーション(ケアプランセンター)、男子トイレ、女子トイレ、女子ロッカー、洗濯室、デイ・サービスフロア、休憩室、特別浴室(機械浴)、厨房、職員食堂、男子ロッカー、倉庫



施設内観/2階

明るい日の光が差し込む、4人部屋(多床室)にてお部屋をご用意しております。和風の趣ある衝立で仕切られプライバシー確保も配慮されています。

2階：従来型居室11室、従来型個室6室、静養室、医務室、談話室、汚物処理室、リネン庫、男子トイレ、女子トイレ、家庭風呂、スタッフ室、仮眠室、配膳室、デイルーム、倉庫



病院への渡り廊下

2階の南西面には、隣接する済生会泉尾病院へとつながる渡り廊下があります。定期回診や救急時の搬送に季節や天候を気にせず通行でき、「安心の架け橋」として大変役立っています。



施設内観/3階

広々としたデイルームは、明るく落ち着いておりアットホームな雰囲気なので、みなさんとお喋りしながら、ゆっくりとお食事いただけ、また、行事のスペースとしても活用。

3階：従来型居室14室、従来型個室2室、倉庫、浴室(岩風呂)、脱衣室、汚物処理室、リネン室、女子トイレ、男子トイレ、スタッフ室、仮眠室、配膳室、デイルーム



ご利用いただけるサービス



お食事について

食べやすいこと、おいしさ、栄養に配慮した食事をご用意しています。

また、ご利用者様のお食事スタイルに合わせた献立で楽しいお食事のひと時をお過ごしいただけます。

※医師の指導のもと、管理栄養士の立てる献立表により栄養並びに身体の状態及び嗜好を考慮した食事をご提供します。



送迎サービスについて

車いすのまま乗降することができる介護用ワゴン車は、要介護者が安心して外出するために欠かすことのできないサービスです。



入浴介助サービスについて

スタッフが入浴を介助いたします。ご自宅での入浴が難しい場合などにご利用ください。岩肌でレイアウトされ、温泉気分を味わえる快適な浴場でゆっくり過ごすことができます。また、介護状態に応じ、寝たきりの方には1階の機械浴槽を使用して入浴いただけます。



健康状態のチェックについて

医務室の看護師による、血圧・脈拍・体温などの測定と体調チェックを行います。また、隣接の済生会泉尾病院から定期的的回診を行い、常にご利用者様の健康状態を把握し万全な対応に努めます。

施設案内/交通案内

| | |
|-------|--|
| 施設名 | 泉尾特別養護老人ホーム大正園 |
| 事業所名 | 通所事業：大正デイ・サービスセンター 居宅介護支援事業：北恩加島地域在宅サービスステーション |
| 所在地 | 〒551-0032 大阪市大正区北村3-4-3 |
| 電話番号 | 06-6552-3323 |
| FAX番号 | 06-6552-3861 |
| 開設者 | 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部大阪府済生会 |
| 設立年月日 | 昭和62年5月1日 |
| 敷地面積 | 1,999.85㎡ |
| 職員数 | 87名（平成31年4月現在） |
| 事業内容 | 1. 長期入所事業(定員100名) 2. 短期入所事業(定員8名) 3. 通所事業(地域密着型:15名 認知症対応型:12名) 4. 居宅介護支援事業 |



- JR環状線・地下鉄長堀橋鶴見緑地線「大正駅」よりタクシーで約10分
- JR環状線・地下鉄長堀橋鶴見緑地線「大正駅」より市バスで約15～20分
- 交通機関 JR大正駅・地下大正駅線より市バス乗り継ぎ徒歩7分